

報告：原発問題をめぐる全体状況

＠第 85 回脱原発八千代ネットワーク定例会

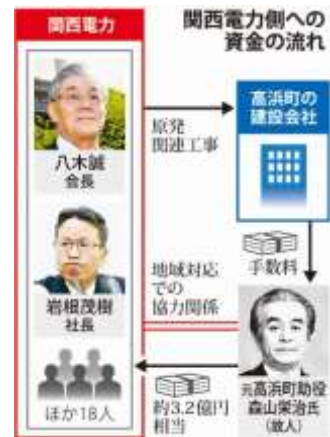
2019 年 10 月 26 日 川井康郎

1. フクシマの状況

- (1) 福島事故に係わる刑事責任事件 3 被告（旧東電役員）への無罪判決（東京地裁 9/19）に対し、検察官役の指定弁護士は東京高裁に控訴した（9/30）。
- (2) 10/12 に襲った台風 19 号の豪雨により除染廃棄物が計 55 袋流出と。空間線量に影響なしというが、問題は未除染の山間部土壌と川底土壌の流出による生態系汚染。
- (3) 9/27 経産省の汚染水問題小委員会開催。東電は、毎日 150 トンずつ増加している汚染水により敷地は 2022 年に満杯になると。委員会は新たな敷地を検討するよう求めた。原子力市民委員会はモルタル固化案を提案。
- (4) 10/16 東電は取扱い機の不具合により 3 号機からの使用済み燃料取り出し作業を延期すると（これまでに 28/538 体取り出し）。再開時期は不明。廃炉作業の収束は全く見通せない。

2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 稼働中原発は 6 基（3 基は定期点検中）。
- (2) 10/16 福井地裁（武宮英子裁判長）は福井県内住民による大飯 3、4 号機運転差し止め請求を却下。争点は基準地震動値をめぐるもの。
- (3) 原発マネーをめぐる闇の一角が明らかに。関西電力が発注した工事代金の一部（約 3.2 億円）が関電経営陣に還流していたことが判明。収賄・背任行為にならない！？自民党の世耕参院幹事長、稲田幹事長代行にも政治献金が流れている。
- (4) 東電など電力 5 各社は日本原電に対して、東海第二の再稼働費用（安全対策工事）3500 億円の支援を行なう方向と。すでに破綻している原電に膨大な資金をつぎ込む愚。原資は電気料金。



3. その他のトピックス

- (1) 9/24 国連温暖化サミットにてグレタ・トゥンベリさんが、各国の温暖化対策が進んでいないことに対して強い怒りを表明。
- (2) 10/2 北朝鮮は SLBM（潜水艦発射弾道ミサイル）の発射に成功と発表。8 月に失効した米口間の INF（中距離核戦力）全廃条約の失効と共に核軍縮体制の後退が懸念される。

<以上>